様式1 平成26年度　山梨県立中央高等学校・定時制　評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針	規範意識の育成を図ると共に、社会の中で自立する生徒を育てる。

山梨県立中央高等学校校長　小林　欣一

本年度の重点目標	
	1　生徒が、生き生きと登校する学校づくりを進める
	2　社会において自立できるしなやかな心を持つ生徒を育てる
	3　きめ細かい指導により、確かな学力を育成する

達成度		
	A	ほぼ達成できた。（8割以上）
	B	概ね達成できた。（6割以上）
	C	不十分である。（4割以上）
	D	達成できなかった。（4割以下）

評価		
	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自　己　評　価							学校関係者評価	
	本年度の重点目標			年度末評価（2月13日現在）			実施日　（平成26年3月8日）	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	生徒が、生き生きと登校する学校づくりを進める	規範意識の向上を目指した啓発活動の工夫	アンケート調査・観察	・生徒アンケートの高評価の割合が昨年度比＋6%を越えたものは、「災害時の基本行動が、具体的に知らされている。」「先生方は、同じ歩調で生徒指導に当たっている。」「健康管理に関わる指導が行われている。」の3項目で、新校舎の利用や午前部の新設をきっかけに、安全・安心といった観点の取り組みが生徒にも浸透していることが窺える。 ・「学校には悩みを相談できる人がいる。」と回答した生徒が70%を越えた。生徒の支援体制に一定の評価が得られている。	A	・教育相談を含む生徒支援の体制は確立されているので、組織点検を行い、継続的な生徒支援を行う。 ・SSTについては、社会性の育成プログラムの中に配置し生徒の発達段階に応じた教材が準備できたので、活用したい。 ・次年度は、新校舎建設の完成年度となるので、防災等安全管理について手引き等を作成する予定である。	4	・生徒の安全指導が良くなされていると思います。 ・5年ほど前に比し退学者の数が減少している。午前・午後・夜と勤務時間が不規則であるのにもかかわらず、職員の意思統一ができている。 ・生徒アンケートでも7割が悩みを相談できる人がいると答えており生徒の信頼も高い。 ・生徒の悩みをさらに解消するために、SSTなど新しいことにも取り組んでいる。
		教育相談を中心としたインクルーシブ教育システムの構築	アンケート調査 適応支援会議内評価					
		SST実施によるコミュニケーション能力の向上	アンケート調査・観察					
		新校舎の設置に伴う、生徒の安全確保体制の整備	危機管理マニュアル 防災計画書の内容					
2	社会において自立できるしなやかな心を持つ生徒を育てる	勤労観や就労意識の向上のためのインターンシップの実施	アンケート調査	・進路決定に必要な基礎学力の不足により、進路実現が困難になる場合や就職や進学に関する情報提供が生徒の発達段階に合わず、決定時期に充分に間に合わないといった課題がある。 ・教職員・生徒・保護者それぞれのアンケートにおいて、約80%の高評価は得られているが、系統的継続的な指導としては、再整備する必要がある。	B	・就職や進学に係わる内容について、生徒が早い段階から意識できる取り組みや、進路選択までに、家庭が準備しなければならない進路情報の提供を、積極的に行う必要がある。LHRや総合的な学習の時間と学校行事を中心にキャリア教育の全体計画に準じた、体系的・継続的な取り組みを新年度に向かって用意している。	3	・生徒の進路指導について熱心に行われていることが読み取れる。 ・生徒を自立させるために一番必要なことは自信をもたせることである。全日制の生徒と競う商業実務大会で優勝すると言うような経験をさらに持たせたい。 ・インターンシップやボランティア活動など、学校を出て社会と交わる活動をさらに増やしたい。 ・ガイダンス、カウンセリングが充実しており、多方面から生徒を観察していると思うが、さらによく見て、生徒の持っている良い者を見いだし、それを伸ばす努力を続けて欲しい。
		社会人として必要とされるマナーの習得	アンケート調査					
		進路意識の高揚を図るための、進路行事の工夫	アンケート調査					
		生活体験文の作成を通じた、キャリア発達の推進	生活体験文発表会					
3	きめ細かい指導により、確かな学力を育成する	授業の質的向上のための、教員相互の授業観察と授業アンケートの実施	授業観察記録表 授業アンケート	・三部制の完成年度に向けた教育課程が編成できた。 ・卒業に必要な単位を取得することだけが目的とならないような科目選択の指導が必要となっている。 ・生徒アンケートの上位項目に「多くの先生方は、わかりやすい授業をしてくれる。」があり、恒常的な授業改善がなされている。 ・総合的な学習の時間において主体的な学びは、実現されている。単位制の特徴を活かした実践計画を確立したい。	B	・次年度は、三部制による卒業生を送り出すことになるが、進路実現に対応できた教育課程であったかを検証し、より生徒に合ったものを構築したい。 ・マイステップ学習・総合的な学習についても、社会性の育成プログラムの中に、明確に位置づけ、系統的・体系的な計画をつくる予定である。 ・相互授業参観や、授業改善のための研修を行い、よりよい授業を構築したい。	3	・生徒へのわかりやすいきめ細かい指導が窺える。 ・先生方は、わかりやすい授業を展開されているが、生徒の学力を伸ばし、全日制に追いつき、追い越すという気持ちを常にもって欲しい。
		三部制に対応した教育課程の編成	教育課程の編成					
		基礎的・基本的知識の定着を図るマイステップ学習の実施	マイステップ学習教材の内容					
		総合的な学習の時間の計画的運営	計画的実施状況					

留意点　（1）重点目標と評価項目については，各学校の現状と課題に基づき，実情に合わせて重点化し，設定する。
（2）学校関係者評価については，年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し，評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは，最終回の学校評価委員会等を開催し，学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。